

科目ナンバー： BC2073

授業コード： 2230200700

講義科目名称： 小児看護学演習

英文科目名称： Practice in Child and Family Health Nursing

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	3学年	1単位	必修
担当教員			
◎大久保明子、野澤祥子、小林宏至			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 15時間		
	【担当教員】			
	【氏名】 ◎大久保 明子 野澤 祥子 小林 宏至 実務経験のある教員が担当します。	【所属】 新潟県立看護大学 新潟県立看護大学 新潟県立看護大学	【研究室】 207 共同研究室1 共同研究室1	【メールアドレス】 ohkubo@niigata-cn.ac.jp takahasi@niigata-cn.ac.jp kobahiro@niigata-cn.ac.jp
	【本学の科目区分】 専門科目			
	【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程			
	【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ○ ◎			

到達目標	1. 子どもの成長・発達の特徴を理解し、発達段階に応じた基本的な小児看護技術を、安全かつ安楽に実施できる。 2. グループでディスカッションを繰り返しながら、紙上事例の子どもに必要な観察項目と観察方法を整理し、適切な観察が実施できる。 3. 紙上事例について子どもと家族に必要な看護がアセスメントできる。			
授業概要	本科目では、小児看護学実習の際に必要な知識・技術を中心とした学修内容で構成している。グループワーク、シミュレーションを通して、健康問題をもつ子どもと家族に必要な看護援助を考え、実践できる能力を修得できるよう課題を設定している。			
授業計画	1	授業内容 授業形態：講義 学修課題：演習オリエンテーション 学修内容：演習目的・方法、課題と評価について 事前学修：小児看護学演習のシラバスを読む 事後学修：紙上事例の発達段階と疾患の病態・検査・治療について整理する 備考：		
	2	授業内容 授業形態：講義・演習 学修課題：子どもの清潔ケア 学修内容：全身清拭・陰部洗浄 事前学修：小児看護学テキスト、小児看護学演習資料の該当箇所を読み、事前課題レポートに取り組む 事後学修：演習の振り返りをまとめる 備考：		
	3	授業内容 授業形態：講義・演習 学修課題：子どもの清潔ケア 学修内容：全身清拭・陰部洗浄 事前学修：小児看護学テキスト、小児看護学演習資料の該当箇所を読み、事前課題レポートに取り組む 事後学修：演習の振り返りをまとめる 備考：		
	4	授業内容 授業形態：演習 学修課題：子どものフィジカルアセスメント、身体計測 学修内容：聴診、体重・身長測定、点滴中の子ども観察 事前学修：小児看護学テキスト、小児看護学演習資料の該当箇所を読み、事前課題レポートに取り組む 事後学修：演習内容を参考にして、紙上事例の観察項目を整理する 備考：		
	5	授業内容		

	授業形態：演習 学修課題：子どものフィジカルアセスメント、身体計測 学修内容：聴診、体重・身長測定、点滴中の子ども観察 事前学修：小児看護学テキスト、小児看護学演習資料の該当箇所を読み、事前課題レポートに取り組む 事後学修：演習内容を参考にして、紙上事例の観察項目を整理する 備考： 授業内容 6 授業形態：講義 学修課題：紙上事例の看護アセスメント 学修内容：紙上事例の看護アセスメントの進捗状況の確認と解説 事前学修：看護アセスメントの課題に取り組む 事後学修：解説を参考に看護アセスメントを追加・修正する 備考： 授業内容 7 授業形態：グループワーク 学修課題：子どもの観察項目と観察方法 学修内容：観察技術グループワークシートの作成 事前学修：紙上事例の子どもに必要な観察項目と観察方法を整理する 事後学修：「子どもの観察技術」の役割分担を決め演習に向けた準備をする 備考： 授業内容 8 授業形態：シミュレーション 学修課題：子どもの観察技術 学修内容：バイタルサインの測定、症状観察 事前学修：観察項目と観察方法を確認する 事後学修：子どもの観察技術についての自己の課題を整理する 備考：
評価方法、評価基準	到達目標 1 は、課題レポート（20％）、技術チェックリスト（10％）と参加態度（10％）で評価する。 到達目標 2 は、課題レポート（10％）、観察技術グループワークシート（20％）と参加態度（10％）で評価する。 到達目標 3 は、データベースアセスメント用紙（20％）で評価する。
必携図書	奈良間美穂ほか（2025）：系統看護学講座 小児看護学〔1〕第15版，医学書院。 丸光恵ほか（2025）：系統看護学講座 小児看護学〔2〕第15版，医学書院。
参考図書・資料等	【資料】 ハンドアウトの資料を配布 【参考書】 荃津智子（2021）：発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程第2版，医歯薬出版。 浅野みどり，杉浦太一，大村知子（2021）：発達段階からみた小児看護過程+病態関連図第4版，医学書院。 市江和子（2021）：病期・発達段階の視点でみる小児看護過程，照林社。 山元恵子（2022）：写真でわかる小児看護技術 アドバンス，インターメディカ。 渡邊朋他（2018）：看護の現場ですぐに役立つ小児看護のキホン，秀和システム。 【参考DVD】 筒井真優美（2007）：臨床で役立つ小児看護技術第1巻こどもの身体計測，京都科学。 筒井真優美（2007）：臨床で役立つ小児看護技術第2巻こどものバイタルサイン測定，京都科学。
受講、課題、資料配布等のルール	「小児看護学Ⅰ」および「小児看護学Ⅱ」の単位を取得している者とする。 欠席の場合は必ず担当教員に事前に連絡をする。 20分以上の遅刻・早退は欠席とする。
教員からのメッセージ	小児看護学演習では、子どもの視点に立って考え、安全で安楽な看護を実践するための基礎を身につけてください。また、思考力や想像力を駆使し、主体的に学ぶことが重要です。仲間と共にディスカッションしながら学びを深めていきましょう。
オフィスアワー	事前にアポイントを取ってください。